

2013年9月13日

【報道関係各位】

株式会社ベネッセコーポレーション 代表取締役社長 明田 英治

# 日本の高校から海外の大学への進学を考える高校生を対象に、 10月13日大阪、14日東京、 「海外留学フェア 2013」開催

アメリカ、カナダ、オーストラリアから、大学への編入実績の高いカレッジが参加

株式会社ベネッセコーポレーション(本社:岡山市、以下:ベネッセ)は、日本の高校から海外の大学への進学を検討している高校生を対象に、10月13日大阪、14日東京にて、「海外留学フェア2013」を開催いたします。「カレッジ」は日本の「短大」または「専門学校」に相当しますが、日本から海外大学への進学には、「カレッジ」からの編入を目指すコースが一般的です。当フェアは、日本からの進学者が多いアメリカ、カナダ、オーストラリアのカレッジの入試担当者から、それぞれのカレッジの内容を直接聞ける場を用意することで、日本の高校生の海外大進学を支援することを狙いとしています。

日本の若者の「内向き志向」が指摘される一方、経済の急速なグローバル化を受け、自民党教育再生実行本部が、国家公務員試験の採用試験や大学入試、卒業資格へのTOEFL等の活用などを盛り込んだ、「成長戦略に資するグローバル人材育成部会提言」をまとめるなど、国や地方自治体、経済団体の「グローバル人材育成」施策が次々に発表されています。このような中、保護者や中学生、高校生の間で、「海外大進学」に関する関心・ニーズが、急速に高まって来ています。しかし一方で、海外の大学に関する情報は、依然として限定的なものである状況は続いています。

ベネッセでは、このような時代を予測、2010年より、「海外進学カレッジフェア」を開催してきました。海外のカレッジを招聘するイベントは、国内でもいくつか開催されていますが、当フェアの特徴は、「高校・大学在学時の留学」ではなく、「高校から海外大学への進学」を希望する高校生に対象を限定していることにあります。これにより、海外のカレッジと国内の高校生との間での狙いが一致し、かつ、少人数での密度の濃いコミュニケーションが可能になります。また、ベネッセグループの語学学校ELS Language Centersのアメリカ・カナダ・オーストラリアの担当者、また、同じくグループ会社で、オーストラリアの専門学校TAFEへの進学サポート機関、Benesse Global Career Academyの担当者も参加しますので、語学面でのサポートを含め、留学までのプロセスに関しても、個別に相談ができます。

ベネッセグループは、「グローバル人材育成」を今後の事業展開における一つの柱としており、海外進学 支援事業にも、いっそうの力を注いで参ります。

# 「海外留学フェア 2013」詳細内容

- 1. 日時·場所
  - ① 大阪会場

2013年10月13日(日) 11:00~17:00

10:30より受付開始。上記時間、随時受付、出入り自由。



大阪駅前第3ビル

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-1-3

http://ekimae3.jp/access.html

### ② 東京会場

2013年10月14日(月·祝) 11:00~17:00

10:30より受付開始。上記時間、随時受付、出入り自由。

新宿 NS ビル

〒163-0411 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル

http://www.shinjuku-ns.co.jp/about/access.php

# 2. プログラム

# ①カレッジ個別相談

アメリカ、カナダの公立「コミュニティカレッジ」、オーストラリアの公立キャリアカレッジ「TAFE」の入試担当者が ブースを設置、各カレッジの情報を直接聞くことができます。

参加カレッジは、いずれも、大学編入実績の高い学校です。

11:00~17:00の間、随時、個別に受け付けます。

#### 【参加カレッジ】

#### ★アメリカ

Clark College Kapi'olani Community College Skyline College

Foothill College El Camino College Orange Coast College

De Anza College Cañada College Bates Technical College

Green River Community College College of San Mateo

# ★カナダ

**Humber College** 

# ★オーストラリア

University of Western Sydney (東京会場のみ参加)

TAFE NSW-Northern Sydney Institute ( NSI ) Metropolitan South Institute of TAFE ( MSIT )

#### ★英語学校

ELS Language Centers-USA ELS Language Centers-Canada

ELS Language Centers-Australia



#### ②セミナー

アメリカ、カナダのカレッジ、オーストラリアの公立専門学校 TAFE の仕組みやコース選択、出願、入学試験などについて、ベネッセの担当者から説明します。

- 1)海外進学・留学 基礎知識編 11:00~11:45、13:00~13:45 の2回開催します。
- 2) 海外進学・留学 出願準備編 12:00~12:45、14:00~14:45 の2回開催します。

#### ③個別相談会

学校選択に関する相談の他、海外で学ぶ学問や生活面、出願手続き、また、留学のために必要な英語学習などに関して、ベネッセの海外留学カウンセラーや英語学習アドバイザーに相談できます。

11:00~17:00の間、随時、個別に受け付けます。

#### 3. 申込み・問合せ方法

①ホームページから 「ベネッセ 海外進学」で検索

http://www.benesse-kaigai.com/fair2013/

②電話 0120-125-968 通話料無料 (毎日 10:00~20:00 年末年始を除く)

#### 4. 参加費 無料

#### 【参考】

#### ① アメリカ・カナダの公立カレッジ

コミュニティカレッジとも呼ばれます。大学進学準備コースと、 就職に役立つ職業のためのトレーニングコースに、大きく分かれます。大学進学準備コースでは、4年制大学編入の際に必要な単位が取得できるだけでなく、必要単位数を取得すれば準学士号を取得することができます。4年制大学・私立の2年制大学に比べて、非常に学費が安いこと、入学条件として求められる語学力や成績の平均評定値が大学に比べてゆるやかであることから、直接4年制大学への進学が難しい場合にも、海外での大学進学を実現できる選択肢の一つとして人気を集めています。

#### ② オーストラリアの TAFE

各州の教育省によって運営されているキャリアカレッジです。主に、将来の職業に活きるスキル修得を目的としたコースが多数開講されています。少人数制の授業で、各業界の最先端の施設に触れて学ぶことができ、大学に比較すると学費がずっと安価であることから、その人気は、地元オーストラリアの高校生も、進学する学生の半分が TAFE を選びます。何より、TAFE で取得した単位を大学編入に使うことができ、分野によっては、TAFE+大学課程を 4 年かからずに終えることも可能です。



#### ③ ELS Language Centers

ベネッセのグループ会社・ベルリッツコーポレーションが運営する、創立50年を迎えた、全米でもっとも歴史ある英語学校の一つです。全米に60以上のセンターを構え、その多くが、提携している大学のキャンパス内に開校しており、大学進学前の英語力補強に力を入れています。また、提携大学は全米に650以上あり、これらの大学には、TOEFLの受験をせずとも、規定のレベルを修了することで英語力の証明として認められるという特典があります。カナダにはバンクーバー、トロントの2拠点、オーストラリアにはシドニー、ブリスベンの2拠点を展開しています。

# **④** Benesse Global Career Academy

ベネッセグローバルキャリアアカデミーは、オーストラリアでの学位・資格取得をめざす学生を現地で支援する、オーストラリア法人 Benesse GCA Pty. Ltd.が提供するサービスです。主に、TAFE (テイフ) と呼ばれるオーストラリアの公立キャリアカレッジで実践的な知識・スキルを習得し、取得した単位を大学編入に活かすという進路を支援しています。ベネッセグローバルキャリアアカデミーの学生は、まず、TAFE に進学する英語力をつける為に、通常 35 週間 TELC (テルク) と呼ばれる TAFE 付属英語学校に入学することになりますが、この期間中の学生に対し、学習面のサポートや、キャリアカウンセリングを行い、TAFE の専門課程選択で希望にあった進路を選択できるよう支援します。

# ⑤ ベネッセ海外留学センター

ベネッセ海外留学センターは、高校卒業後に海外の大学・短大・専門学校に進学する高校生を支援しています。 渡航前のカウンセリングから渡航後の英語学習・生活まで、ベネッセグループが一貫してサポートしています。

URL: http://www.benesse-kaigai.com/

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ベネッセコーポレーション 広報部 三田村、坂本、藤田、西沢

TEL:03-5320-3503 FAX:03-5320-1677